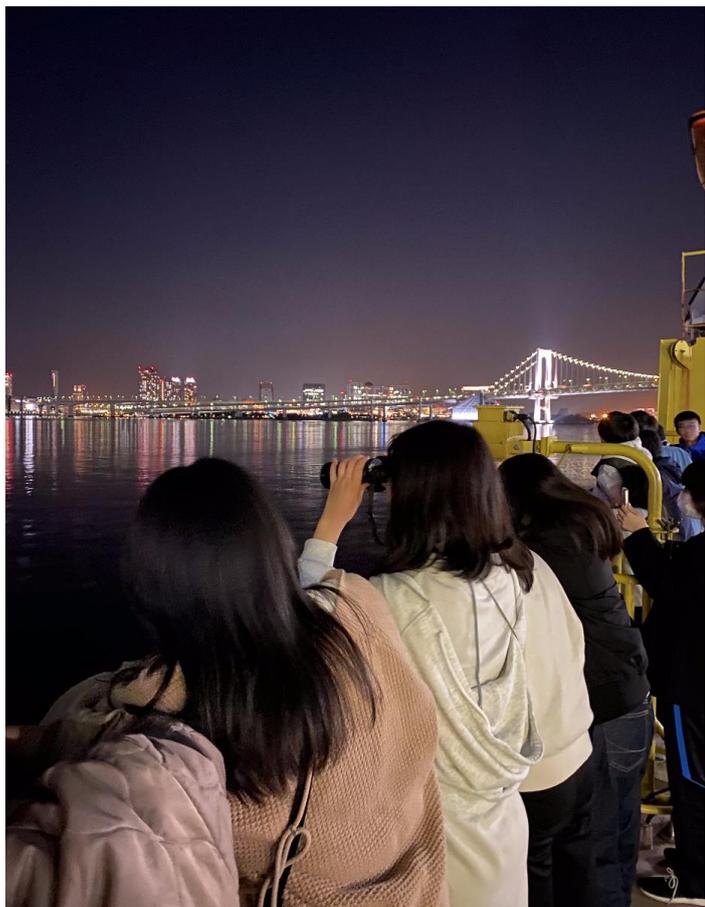


理数研究校企画

「R5年度 三宅島研修」 11/21～11/23

11月21日(火)22:30 竹芝棧橋発 いざ三宅島へ！



11月22日(水) 溶岩流跡の遷移観察



1983年の噴火口(新鼻新山)



階層構造の観察



パッチの計測(GPSで場所を決定し、長径・短径・植生を記録)



パッチは成長し続けるのだろうか。それとも成長には限界があるのだろうか。

コキクガシラコウモリのコロニー



↑この写真は Wikipedia より

「夜の振り返り」(様々な意見が飛び交った。)



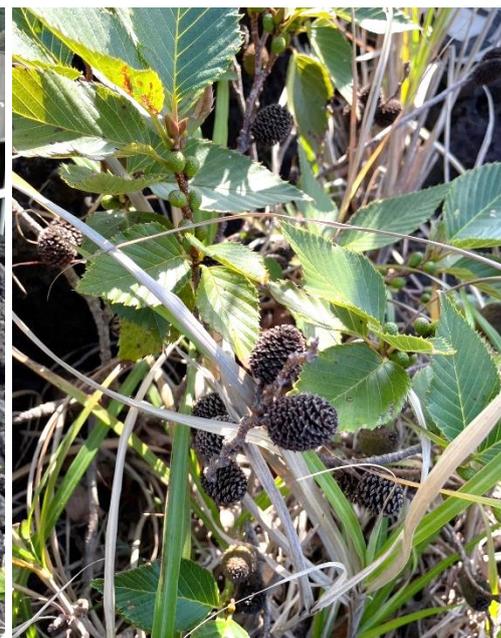
11月23日(木) 七島展望台 (正面に見えているのが、三宅島雄山山頂)



阿古溶岩遊歩道（1983年の溶岩流は阿古集落を飲み込んだ）



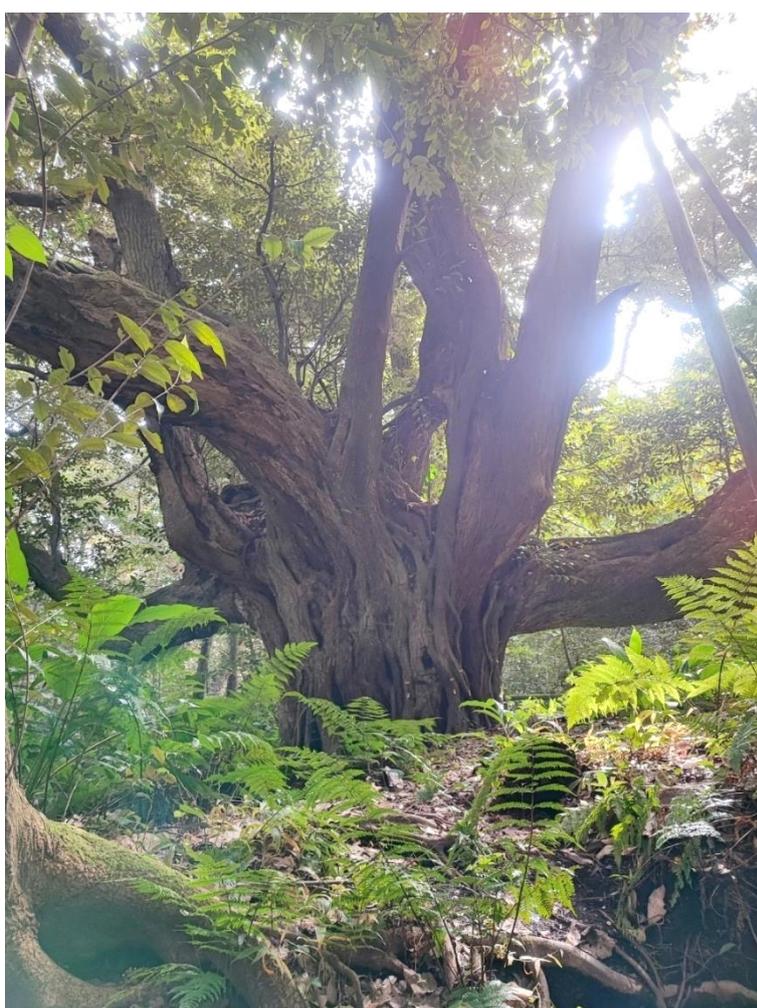
どんな場所でもオオバヤシャブシは根を下ろす。



ウミガメにも会えた



スダジイの巨木



島との別れ



生徒23名、教員3名、講師1名の27名で実施しました。生徒たちは、島の圧倒的な大自然を目の当たりにし、戸惑いながらも生命と自然の力強さと、そこに暮らす人たちの温かさを感じられた研修になったのではないのでしょうか。